



佐藤和也研究室の研究発表が FOOMA AP（アカデミックプラザ）賞を受賞

【概要】

理工学部理工学科メカニカルデザインコースの佐藤和也研究室と山形大学農学部食料生命環境学科 生産機械研究室との共同研究「ベニバナの生産管理ロボットの開発」が、令和元年 7 月 9 日～12 日に東京ビックサイトにて開催された FOOMA JAPAN 2019 国際食品工業展アカデミックプラザにおいて、FOOMA AP 賞を受賞しました。

【本文】

令和元年 7 月 9 日～12 日に東京ビックサイトにて開催された FOOMA JAPAN 2019 国際食品工業展アカデミックプラザにおいて、理工学部理工学科メカニカルデザインコースの佐藤和也研究室と山形大学農学部食料生命環境学科生産機械研究室との共同研究「ベニバナの生産管理ロボットの開発」が AP（アカデミックプラザ）賞（出展者評価部門）を受賞しました。

FOOMA JAPAN は、一般社団法人 日本食品機械工業会が主催する食品機械・装置および関連機器に関する技術ならびに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することを目的とした食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスに関する展示会で、会期中の来場者は毎年 10 万人を超える展示会です。

FOOMA AP 賞は、ポスターセッションにより発表された研究を対象とし、一般社団法人 日本食品機械工業会技術委員、アカデミックプラザの来場者（主として企業人）、参加研究室の各代表による投票結果を基に選考され、48 件の発表に対して 5 件が表彰されました。佐藤和也研究室は山形大学農学部 片平光彦教授、ViAR&E 代表取締役 市浦茂氏（岩手大学大学院 連合農学研究科所属）と共同で「ベニバナの生産管理ロボットの開発」を行い、実機の展示・デモが評価され、AP 賞（出展者評価部門）を受賞しました。おめでとうございます。

○FOOMA AP 賞（出展社評価部門）

研究機関名：佐賀大学 理工学部 理工学科 メカニカルデザインコース佐藤和也研究室
山形大学 農学部 食料生命環境学科 生産機械研究室

テーマ：ベニバナの生産管理ロボットの開発

※賞のホームページ：<http://www.foomajapan.jp/academic/award.html>



開発したベニバナの生産管理ロボット



受賞記念写真

(左から吉弘季幸君 (佐賀大学大学院理工学研究科機械システム工学コース修士課程1年), 佐藤和也教授, 市浦茂氏, 片平光彦教授)